

若松 TERAKOYA プロジェクト キックオフイベント開催

開催日：平成29年7月2日(日) 場所：若松環境コミュニティセンター

- 「子どもから中高年までが安心して暮らせる住みやすいまちづくりを目指し、人と人がつながる仕組みをつくりたい」と、夢追塾卒業生グループと、夢追塾同窓会若松支部会・若松保護司会・日立金属和彊クラブの有志により、今年3月に「若松 TERAKOYA プロジェクト」を設立、このたびキックオフイベントを開催し、約70名の参加があった。
- 「TERAKOYA構想」として未来のコミュニティデザインが示された。
 - ①いつでも立ち寄り、くつろげる場、様々な人と出会い交流できる場⇒地域の縁側＝ふれあいの場
 - ②出会い、学び合い、地域の中高年による問題解決・魅力あるまちづくり⇒学び合う地域＝寺子屋の場
 - ③自分たちがやりたいことができる、高齢者にとっての居場所⇒「中高年活躍の場」
- 4月から5月にかけて若松で実施したアンケートの結果が報告された。
65歳以上の高齢者比率が増加、無縁社会化に拍車がかかる中で、住民相互の自主的な支え合い・助け合いの関係が必要であると96%の回答があった。人と人をつなぐ場、気楽に集まれる場が必要であると説明された。
- 松永教授より、これからの地域では①役割づくり②居場所づくり③関係づくりが大切とのお話と共に、プロジェクトへ期待する旨の応援メッセージをいただいた。
- スローガン実現に向けてプロジェクトの開始が宣言され、和気あいあいの中、参加者全員により仲間づくりが進められた。趣旨への賛同と、活動に参加・協力する、手伝うとのコメントをいただき、今後への期待の高さが伺えた。
- 北九州市の誕生を記念し制作されたビデオ「北九州音頭」、BMW(ボケない・モテる・若返る)「マジックショー」に始まり、「夢追いたい」の演舞、最後に若松を代表する「五平太舟」を全員で踊り、笑顔と熱気に溢れた、希望と期待のイベントとなりました。

(報告 9期 楠 稔幸)



スタッフ記念撮影



2期雨宮さん(構想の説明)



9期楠さん(アンケート報告)



2期池田さん(開始宣言)



松永教授(応援メッセージ)



9期久保さん(司会)



2期上森さん(仲間づくり)



8期関岡さん(手品)



3期宮尾さん(夢追いたい)



9期新富さん(五平太舟)

(受付)4期岡さん・7期山田さん (写真撮影)4期福内さん